

【2024】評価・追加・要改善項目(2024.10.3)

【対象期間:2023/10/1~2024/9/30】

■有休取得率と1人あたりの残業時間について

新事業準備に伴い、1人あたりの業務量が著しく増加したため、中間チェック時、平均残業時間が増え、有給消化率も低下していることに気づきました。

人材確保と育成には時間を要するため、8月より思い切って電話の受付時間を15時までにして2時間短縮させていただくことにしました。

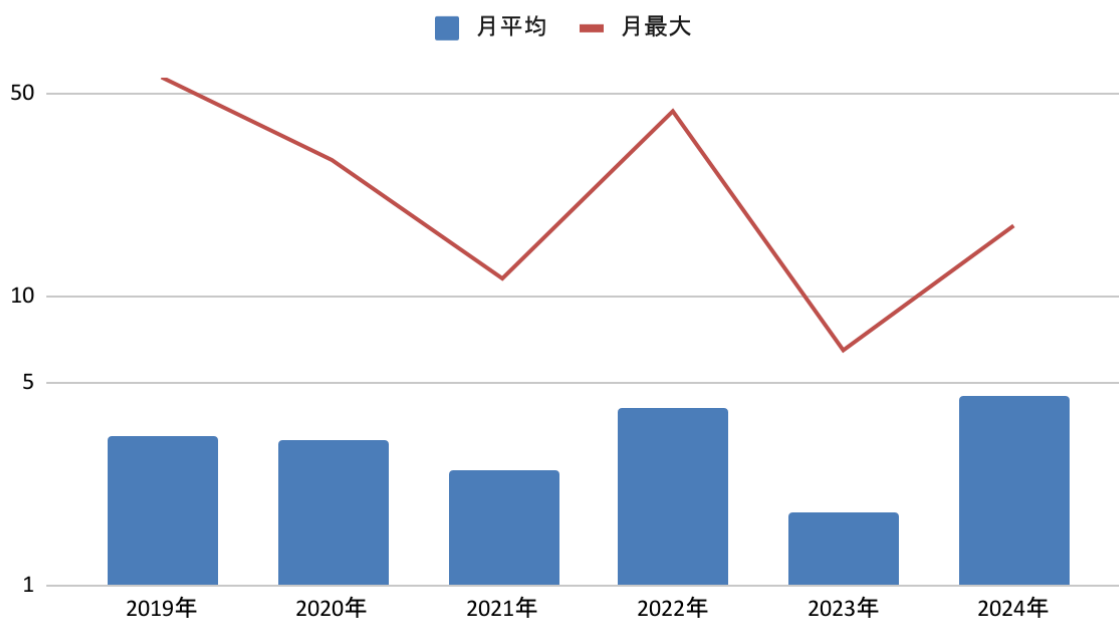
<有給取得率>

	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
平均取得率	78%	84%	100%	111%	121%	90%
最低取得率	33%	35%	69%	75%	54%	39%

<1人あたり平均残業時間>

	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
月平均	3.29時間	3.20時間	2.50時間	4.1時間	1.8時間	4.5時間
月最大	57時間	29.5時間	11.5時間	43.5時間	6.5時間	17.5時間

残業時間(月平均と月最大)



■昨年の課題

社内アンケート結果により、

「本当はもっと運動したいができていない」と感じている人が、約85%

「仕事中に発生している問題」で肩こりが約72%、腰痛43%

だったため、次の①～③を推進計画とし、運動不足に悩む従業員の割合を85%→45%にすることを目標としていました。

<取組内容と中間結果>

①以前からあるフィットネスジム使用料全額負担について再周知。

→新たにフィットネスジムに通い、効果を感じている人がいる一方で、子供をもつ母親が多いこともあり、フィットネスジム通いが難しい人が多くいることがわかりました。

②デスクワーク者の割合が高いため、座ったままでもできる簡単なストレッチの方法を社内チャットワークにて共有。自分のタイミングで実施してもらう。

③朝ミーティング後に時間を設けて全体で簡単なストレッチを定期的を実施することで運動習慣に繋げる。

→業務量が増え、個人・全体ともに時間を取ることが難しい状況がありました。

<軌道修正>

1) 求人による人員増加

2) 電話受付時間を2時間短縮

3) 業務工程の見直し

4) 新たな福利厚生を追加

2月から毎月1回出張マッサージを呼び、希望者は施術が受けられるようにしました。そこで個々の状態に適した簡単なストレッチの方法なども教わり、各自日々のケアにも取り入れてもらうことにしました。

<最終結果>

2024.9.30実施の「健康に関するアンケート調査」において、

「今の運動量がちょうどいい」と感じている人が7.7%→22.2%に若干増加したものの、「運動不足」を感じている人が66.7%と依然として高く、運動意欲はあるがなかなか取り組めないという意見がありました。

■課題(新たな取り組み)

健康に関するアンケート結果により、会社で運動する時間を設けて取り組みたいという意見が多かったため、朝ミーティングのあとラジオ体操をすることにしました。

また、仕事中に発生している問題で「肩こり」が88.9%と依然として高いため、仕事の合間にできるストレッチ方法など、社内チャットワークも活用して情報提供をしていきます。

<目標>

「運動不足」を感じている人の割合を現状値67%→30%に減らせるよう、ラジオ体操がきっかけとなって運動習慣に繋がることも期待しています。